

設定ガイド

1.	はじめに	2
2.	前提条件 操作の流れ	2
3.	操作の流れ	2
4.	自席 PC の設定	3
4.1.	DoMobile エージェントの設定	4
4.2.	その他の設定	14
4.2.1	. SAS(Secure Attention Sequence)の設定	14
4.2.2	. 電源設定	15
4.3.	システム BIOS の設定	15
4.4.	AMT のバージョンが 12.X または 11.X の場合	16
5.	USB 認証キーを使用するための準備	19
	リモート PC からの接続	

著作権について

本マニュアルの一部またはすべての内容を、許可なく複製・配布することはできません。 使用許諾契約の詳細については、使用許諾契約書をご覧ください。

DoMobile は株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト、カナダ 01Communique Laboratory Inc.の登録商標です。

Windows、Windows Server、Microsoft Edge は、Microsoft Corporation の商標です。
Intel、Intel ロゴ、および Intel vPro は、 IntelCorporation またはその子会社の商標です。
Google Chrome、Google Authenticator は、Google LLC の商標です。
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
なお、本文中では™、®マークは明記しておりません。

1. はじめに

本資料では、NEC 社製パソコン、NEC 社製 PC ストレージサーバ、DoMobile ASP サービス、DoMobile USB 認証キーを組み合わせたシステムを参考に、必要な各設定についてご説明します。

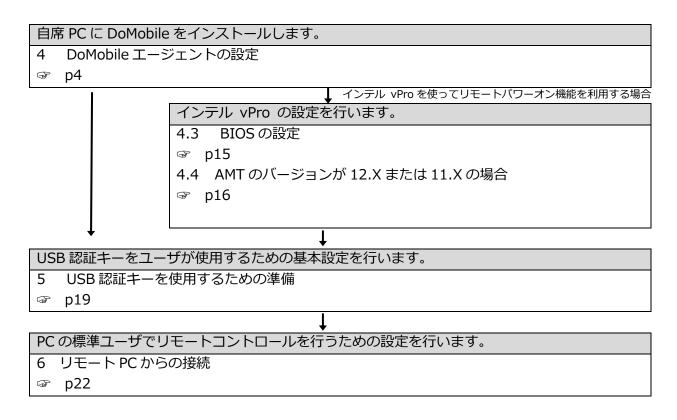
2. 前提条件

本システムを構成する以下のデバイス端末は、OSのセットアップおよびネットワーク設定が完了しており、インターネットに接続されブラウザでWebサイトが表示できる状態である事が前提となります。

用語	説明
DoMobile PC(以下、自席 PC)	リモートアクセスされる自席 PC
起動用サーバ	リモートパワーオンの為に常時起動されている PC
リモートアクセス端末	リモートアクセスを行うための任意の Windows PC

3. 操作の流れ

本システムを使用してリモートからリモートパワーオンを行うために、必要な準備や操作の大まかな流れを次に示します。



4. 自席 PC の設定

以下の内容について、リモートアクセスされる側の自席 PC に必要な設定を行います。

(1) 事前準備

インテル vPro の設定を開始する前に、パッケージに同梱されているユーザ情報シートを用意してください。また、以下の項目を設定する PC 毎に控えてください。

DHCP 環境の場合	固定 IP 環境の場合		
なし	● 設定対象 PC の IP アドレス		
	● サブネットマスクのアドレス		
	● デフォルトゲートウェイのアドレス		
	● 優先 DNS サーバのアドレス		
	● 代替 DNS サーバのアドレス(存在しな		
	い場合は、省略可能です)		

- (2) インテル vPro の機能を有効にするための設定を行います。
 - DoMobile エージェントの設定(☞ p4)
 - システム BIOS でインテル vPro の機能を有効にする(☞ p17)
 - AMT のバージョンが 12.X または 11.X の場合 (☞ p18)

4.1. DoMobile エージェントの設定

パッケージに同梱されている添付 CD 内の csesetup.exe を使用してインストールを行います。インストールはローカルの管理者権限を持つユーザで行ってください。

- (1) csesetup.exe を起動します。
- (2) UAC (ユーザアカウント制御) の警告が表示された場合は、[はい(Y)]をクリックして続行してください。
- (3) セットアップ用プログラムのダウンロードが開始されます。



(4) セットアップ用プログラムのダウンロードが完了すると、自動的にセットアップウィザードが 起動します。ユーザ情報シートに記載されている8桁のアクティブ化コードを入力して、[次へ(N)>]をクリックしてください。アクティブ化コードは半角数字で入力してください。



(5) あなたの姓、名、メールアドレスを半角英数字で入力します。また、インストールするフォル ダを指定します。



- 姓は最大 232 文字の半角英数字で入力してください。
- 名は最大 20 文字の半角英数字で入力してください。
- Email アドレスは最大 60 文字の半角英数字で入力してください。 Email アドレスは本サービスでは使用しません。入力する値は仮の値でも構いません。 例:dummy@dummy.com

手動での上書きインストールは行わないでください。インストールが完了しても正しくログインできなくなります。

■ インストール先に全角文字は使用できません インストール先フォルダにはデフォルトで候補が表示されています。 インストール先を変更する場合は[参照(r)...]をクリックして、インストール先を指定します。 インストール先フォルダを指定して[次へ(N)>]をクリックしてください。

ユーザ情報とインストール先フォルダを設定したら、 [次へ(N)>]をクリックしてください。

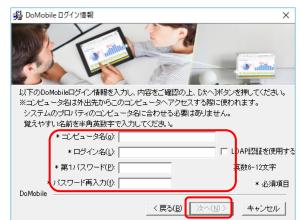
(6) ネットワークの設定を行います。



インターネットの接続にプロキシサーバ等を使用している場合は、必要な情報を入力します。設定が完了した場合、あるいは設定が不要な場合は「次へ(N)>]をクリックしてください。

- アドレス、アカウント名、パスワード、ドメインは半角英数字で入力してください。
- ポートは半角数字で入力してください。

(7) 外部からこの PC ヘアクセスする際に使用するログイン情報を入力します。



コンピュータ名は外部からアクセスする際に、あなたの PC を見つけるために使います。 システムのプロパティのコンピュータ名に合わせる必要はありません。覚えやすい名前を半角 英数字で入力してください。

ログイン名と第1パスワードはあなたのPCにログインする際に使います。

コンピュータ名は最大 60 文字、ログイン名は最大 64 文字、パスワードは 6 文字 \sim 12 文字の半角英数字で入力してください。記号(例えば \$? / @ # % $^{\sim}$)やスペースが使用できません。

'-' (ハイフン) は文字の間に使用できますが、先頭または末尾には使用できません。

例: Randy-pc-2comp は登録可能なコンピュータ名です。

コンピュータ名とログイン名に大文字小文字の識別はありません。 パスワードは、大文字小文字を識別します。

ログイン情報を入力したら、[次へ(N)>]をクリックしてください。

(8) リモートコントロールの認証に必要な第2パスワードを指定します。



第2パスワードは、リモートコントロールを利用するための認証に必要です。

「第1パスワードと同じ」をチェックすると、第2パスワードの入力はできなくなり、第2パスワードは第1パスワードと同じ値になります。チェックせず、第2パスワードを指定すると、第1パスワードと第2パスワードを異なる値にすることができます。

- 第2パスワードは、6文字~12文字の半角英数字で入力してください。
- パスワードは、大文字小文字を識別します。

指定が完了しましたら、[次へ(N)>]をクリックしてください。

(9) 設定に必要なファイルのコピーが開始されます。

(10) インストールが完了すると、ステータスウィンドウが起動されます。画面右下のタスクトレイ の▲をクリックし、DoMobile のアンテナ
② アイコンが緑になっている事を確認してください。



「Windows の再起動」ダイアログが表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動してください。

※ コンピュータの再起動後に DoMobile が起動し、DoMobile サーバに登録を行います。DoMobile が起動される際に、ユーザー アカウント制御のウィンドウが表示される場合は、[はい(Y)]をクリックしてください。



※ 二段階認証を使用する場合

「二段階認証」を有効にされているお客様は Google 認証システムを使用して、リモート端末からのアクセス時、ワンタイムパスワードによる認証が可能となります。

本機能を使用する際は、モバイルデバイスに Google 認証アプリ(Google Authenticator/Google 認証システム)(以下、Google 認証アプリ)をインストールの上、①~⑤の手順を実施してください。

- ※ 二段階認証の有効/無効は管理者のみが管理機能(DoMobile for Manager)を使用し設定を行えます。
- 自席 PC に DoMobile をインストール完了後、 Google 認証システム用の QR コードが自席 PC の 画面に表示されます。
 - ※ 設定が完了するとこの画面は表示されなくなります。

モバイルデバイスの再設定などに備えてこの 画面イメージを保管してください。

モバイルデバイスの再設定時に保存した QR コードを読み込んでいただくことで、Google 認証アプリへ再設定を行うことが可能です。 (QR コードを紛失した場合は管理者へ設定 の初期化を依頼してください)



- ② モバイルデバイスで Google 認証アプリを開き、QR コードを読み込みます。
- ③ QR コードを読み込むと、Google 認証アプリに Google 認証システムで使用するアカウント名(DoMobile 上で設定したユーザ名、コンピュータ名)と数字 6 桁が表示されます。

この数字6桁は30秒経つと別の数字6桁に変わります。



④ 自席 PC の QR コードの画面に、Google 認証アプリで表示されている数字 6 桁を入力し「完了」ボタンをクリックします。



⑤ 認証が完了すると QR コードの画面が消えます。 これでリモートからのアクセス時に Google 認証 システムを使用しての二段階認証が可能になりま す。



> DoMobile プログラムの再インストール時について

自席 PC に DoMobile プログラムの再インストールを行った場合は、管理者へ連絡し二段階認証の設定の初期化を依頼してください。

設定の初期化を行った場合、以前に設定した認証設定は使用できなくなりますので、再度自席 PC 上で認証の設定を行う必要があります。

- 設定の初期化は管理者のみが管理機能(DoMobile for Manager)を使用し初期化を行えます。
- 管理者の方は「ユーザーズガイド」をご確認の上、設定の初期化を行ってください。
- 管理者が設定の初期化を実施後、自席 PC の DoMobile プログラムがサーバに接続したタイミングで新しい Google 認証システム用の QR コードが自席 PC の画面に表示されますので再度、本手順書に従い設定を行ってください。
- モバイルデバイスを紛失した場合についても、管理者へ二段階認証の設定の初期化を依頼後、再度自席 PC で認証の設定を行ってください。

※「リモートコントロール時、この PC のモニタを隠す」について

リモートコントロール時の自席 PC のモニタを隠す機能となりますが、DoMobile ではデフォルト無効になっております。

本機能を使用される場合は、①~⑤の手順を実施いただくようお願いいたします。

自席 PC がマルチモニタ構成の場合、自席 PC の Windows のディスプレイ設定で PC 起動時にロゴマークが表示されるモニタをメインディスプレイになるように設定してください。

設定手順の詳細は以下の URL を参照ください。

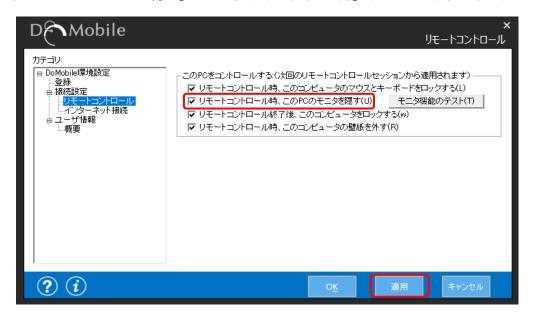
https://support.hitachi-solutions-create.co.jp/asp/do/doc/blankscreen_man.pdf

本機能には以下の制限事項があります。

- 自席 PC がマルチモニタ構成
- リモートコントロール時の拡大率
- 自席 PC のマウスカーソル
- 自席 PC のデスクトップのアイコンの配置
- リモートコントロール中の Ctrl+Alt+Del
- Windows サインイン前の画面
- ユーザアカウント制御画面・セキュリティ画面
- 複数ユーザによる同時アクセス

詳細については、本手順書の【付録 1:「自席 PC のモニタを隠す機能」を使用する場合の制限事項】をご覧ください。

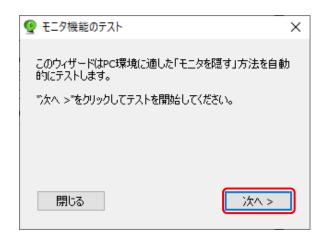
① ステータスウィンドウのカテゴリから「リモートコントロール」を選び「リモートコントロール時、この PC のモニタを隠す」をチェックオンして「適用」ボタンをクリックします。



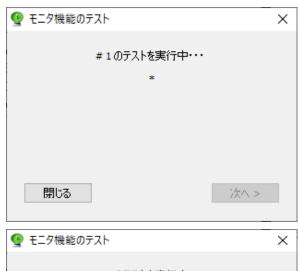
② 「モニタ機能のテスト」ボタンをクリックします。

モニタ機能のテスト(T)

③ 「次へ」ボタンをクリックします。



- ④ 自席 PC の環境に適した「モニタを隠す」方法を自動でテストされます。
- 「モニタを隠す」方法は#1~#3 まであり、最初に#1~#2でテストが実行されます。
- 申止する場合は「閉じる」ボタンを クリックしてください。





⑤ #1~#2でモニタが隠れた場合は、「はい」を選んでください。隠れなかった場合は、「いいえ」を選びます。「いいえ」を選んだ場合は、#3で設定されます。



付録 1: 「自席 PC のモニタを隠す機能」を使用する場合の制限事項

- ▶ 自席 PC がマルチモニタ構成の場合
 - サポートする自席 PC のモニタ数は 2 台までとなります。
- ▶ リモートコントロール時の拡大率
 - ・ 自席 PC の拡大率が 100%以外の場合、リモートコントロール中は強制的に拡大率が 100% に変更されます。
- ▶ 自席 PC のマウスカーソル
 - ・ 自席 PC で他のアプリケーションなどにより標準カーソルが変更される場合、一時的にカーソルの軌跡が表示される状態になります。
- ▶ 自席 PC のデスクトップのアイコン配置
 - 環境によっては、自席 PC のデスクトップのアイコンの配置がリモートコントロール時と、 リモートコントロールを行っていない時で異なります。
- ▶ リモートコントロール時の Ctrl + Alt + Del
 - ・ リモートコントロール時に Ctrl+Alt+Del を送信した場合、一時的に自席 PC のモニタを 隠す機能が解除されます。この場合は、デスクトップ画面に戻ると再度モニタを隠す機能が 有効になります。
 - ・ リモートコントロール時に Ctrl + Alt + Del を送信した場合、画面が更新されるまでに数秒かかります。(ご利用の環境によって、更新までの時間は異なります。)
 - ・ リモートコントロール時に、連続して Ctrl + Alt + Del を送信しないでください。
 - Windows タブレットでリモートコントロール時に Ctrl + Alt + Del を送信した場合、以降リモートコントロールを終了するまで、リモートサウンドをご利用いただけません。

Windows サインイン前の画面

・ リモートパワーオンや電源 ON 直後の Windows サインイン前の画面にリモートコントロールした場合、自席 PC の機種によってモニタは隠れずに表示される場合があります。この場合は、Windows にサインイン後、モニタを隠す機能が有効になります。

▶ ユーザアカウント制御画面・セキュリティ画面

・ ユーザアカウント制御画面、Ctrl + Alt + Del 押下後のセキュリティ画面にリモートコントロールした場合、自席 PC の機種によってモニタは隠れずに表示される場合があります。この場合はメッセージに応答後、モニタを隠す機能が有効になります。

▶ 複数ユーザによる同時アクセスについて

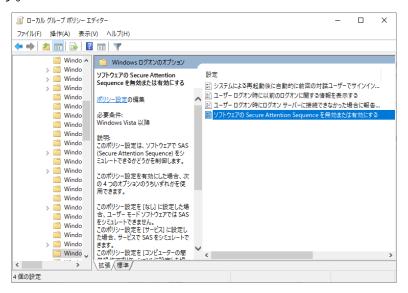
・ 複数のユーザが同時に同じ自席 PC ヘアクセスを行った場合、モニタを隠す機能が正しく動作しません。

4.2. その他の設定

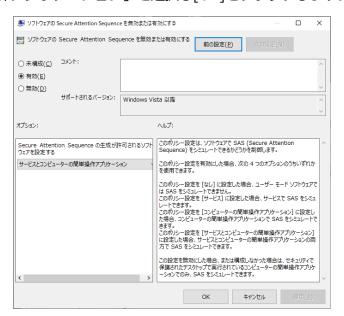
4.2.1. SAS (Secure Attention Sequence) の設定

自席 PC が Windows 8.1、 Windows 2016 Server、Windows 2019 Server の場合、リモートから [Ctrl]-[Alt]-[Del]を送信できるようにするためには、グループポリシの設定で SAS (Secure Attention Sequence) の設定を変更する必要があります。

- (1) Windows キーと R キーを同時に押し、「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開き gpedit.msc を入力し起動します。
- (2) [コンピュータの構成]-[管理用テンプレート]-[Windows コンポーネント]-[Windows ログオンのオプション]-[ソフトウェアの Secure Attention Sequence を無効または有効にする]を開きます。



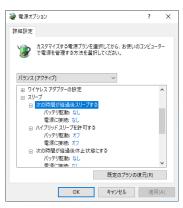
[Secure Attention Sequence の生成が許可されるソフトウェアを設定する]で「サービスとコンピュータの簡単操作アプリケーション」を選択し[OK]をクリックします。



4.2.2. 電源設定

DoMobile は休止モードやスタンバイ、スリープモードをサポートしていませんので、これらの設定を無効にします。

電源管理で、「休止モード」や「システムスタンバイモード」、「スリープ」を「なし」に設定します。



4.3. システム BIOS の設定

PC 起動時に【Ctrl】+【P】が効かない場合、次の手順で vPro が有効になっているかを確認してください。システム BIOS でインテル vPro の機能を有効にします。

- (1) PC の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示された時に【F2】を数回押します。BIOS セットアップユーティリティが表示されたら、左右の矢印キーで「Advanced」メニューに移動します。
- (2) 「Advanced」メニューが表示されたら、一覧から「Intel(R) Manageability」または「Intel Feature Configuration」を選択し【Enter】を押します。

「Intel(R) Manageability」の場合:

「Intel(R) Manageability」メニューが表示されたら、以下の項目が「Enabled」である ことを確認してください。

- 「Intel(R) Manageability Control」
- Press <Ctrl-P> to Enter MEBx

「Intel Feature Configuration」の場合:

「Intel Feature Configuration」メニューが表示されたら「Intel (R) ME BIOS Extension」が「Enabled」であることを確認してください。

(3) 【F10】を押すと「Save & reset」が表示されますので、「Yes」を選択し【Enter】を押します。設定が保存され PC が再起動されます。

- 4.4. AMT のバージョンが 12.X または 11.X の場合
 - A) DHCPモードで使用する場合
 - (1) 電源を入れたらすぐに【Ctrl】+【P】を数回押します。
 - (2) 「MEBx Login」を選択し、【Enter】を押します。
 - (3) 「Intel(R) ME Password」と表示されたら、「admin」と入力し【Enter】を押します。
 - (4) 「Intel(R) ME New Password」と表示されたら、起動対象 PC の vPro パスワードを入力し【Enter】を押します。
 - ※ vPro パスワードは、同梱の「ユーザ情報シート」を参照して、Step1 で入力したアクティブ化コードに対応した vPro パスワードを設定してください。異なる vPro パスワードを設定した場合、リモートから起動することができません。
 - (5) 「Verify Password」と表示されたら、もう一度 vPro パスワードを入力し【Enter】を押します。
 - (6) 「MAIN MENU」メニューが表示されたら、一覧から「Intel(R) AMT Configuration」を 選択し【Enter】を押します。
 - (7) 「INTEL(R) AMT CONFIGURATION」メニューが表示されたら、一覧から「Activate Network Access」を選択し【Enter】を押します。
 - (8) メッセージが表示されたら、【Y】を押します。
 - ※ 実行後は、この項目は表示されなくなります。再度表示させるには、 「Unconfigure Network Access」を選択し、「Full Unprovision」を実行してください。
 - (9) 再度「INTEL(R) AMT CONFIGURATION」メニューが表示されたら、【Esc】を押し、前画面まで戻ります。
 - (10) 「MAIN MENU」メニューが表示されたら、一覧から「MEBx Exit」を選択し【Enter】を 押します。
 - (11) メッセージが表示されたら、【Y】を押します。ME BIOS Extension が終了し、PC が再起動します。

- B) 固定 IP モードで使用する場合
 - (1) 電源を入れたらすぐに【Ctrl】+【P】を数回押します。
 - (2) 「MEBx Login」を選択し、【Enter】を押します。
 - (3) 「Intel(R) ME Password」と表示されたら、「admin」と入力し【Enter】を押します。
 - (4) 「Intel(R) ME New Password」と表示されたら、起動対象 PC の vPro パスワードを入力し【Enter】を押します。
 - ※ vPro パスワードは、同梱の「ユーザ情報シート」を参照して、Step1 で入力したアクティブ化コードに対応した vPro パスワードを設定してください。異なる vPro パスワードを設定した場合、リモートから起動することができません。
 - (5) 「Verify Password」と表示されたら、もう一度 vPro パスワードを入力し【Enter】を押します。
 - (6) 「MAIN MENU」メニューが表示されたら、一覧から「Intel(R) AMT Configuration」を選択し【Enter】を押します。
 - (7) 「INTEL(R) AMT CONFIGURATION」メニューが表示されたら、一覧から「Network Setup」を選択し【Enter】を押します。
 - (8) 「INTEL(R) ME NETWORK SETUP」メニューが表示されたら、一覧から「TCP/IP Settings」を選択し【Enter】を押します。
 - (9) 「TCP/IP SETTINGS」メニューが表示されたら、一覧から「Wired LAN IPV4 Configuration」を選択し【Enter】を押します。
 - (10) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューが表示されたら、一覧から「DHCP Mode」を選択し【Enter】を押します。
 - (11) 画面中央に選択項目が表示されたら、「Disabled」を選択し【Enter】を押します。
 - (12) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューの項目が追加されたら、「IPV4 Address」を選択し【Enter】を押します。入力欄が表示されたら、PC に設定されている IP アドレスを入力し【Enter】を押します。
 - (13) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューから「Subnet Mask Address」を選択しているサブネットマスクを入力し【Enter】を押します。
 - (14) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューから「Default Gateway Address」を 選択し【Enter】を押します。入力欄が表示されたら、PC に設定されているデフォルトゲ ートウェイを入力し【Enter】を押します。

- (15) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューから「Preferred DNS Address」を選択し【Enter】を押します。入力欄が表示されたら、PC に設定されている優先 DNS サーバを入力し【Enter】を押します。
- (16) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューから「Alternate DNS Address」を選択し【Enter】を押します。入力欄が表示されたら、PC に設定されている代替 DNS サーバを入力し【Enter】を押します。
 - ※ 代替 DNS サーバが存在しない場合は、初期値の「0.0.0.0」で【Enter】を押します。
- (17) 「WIRED LAN IPV4 CONFIGURATION」メニューが表示されたら、【Esc】を押し、前画面まで戻ります。
- (18) 「TCP/IP SETTINGS」メニューが表示されたら、【Esc】を押し、前画面まで戻ります。
- (19) 「INTEL(R) ME NETWORK SETUP」メニューが表示されたら、【Esc】を押し、前画面まで戻ります。
- (20) 「INTEL(R) AMT CONFIGURATION」メニューが表示されたら、一覧から「Activate Network Access」を選択し【Enter】を押します。
- (21) メッセージが表示されたら、【Y】を押します。
 - ※ 実行後は、この項目は表示されなくなります。再度表示させるには、「Unconfigure Network Access」を選択し、「Full Unprovision」を実行してください。
- (22) 再度「INTEL(R) AMT CONFIGURATION」メニューが表示されたら、【Esc】を押し、前画 面まで戻ります。
- (23) 「MAIN MENU」メニューが表示されたら、一覧から「MEBx Exit」を選択し【Enter】を 押します。
- (24) メッセージが表示されたら、【Y】を押します。ME BIOS Extension が終了し、PC が再起動します。

5. USB 認証キーを使用するための準備

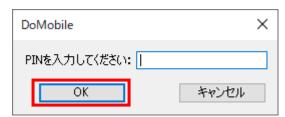
DoMobile の USB 認証キーは、各種証明書およびほとんどの設定情報が設定された状態で送付されますが、一部 DoMobile PC の設定後でなければ取得できない情報があるため、リモートからのアクセスを自動化するためには、追加で[コンピュータ名]、[ログイン名]と[パスワード]を USB 認証キーに設定する必要があります。この設定を行う場合は、ローカルの管理者権限を持つユーザでログインして行ってください。

以下の手順で設定を行ってください。

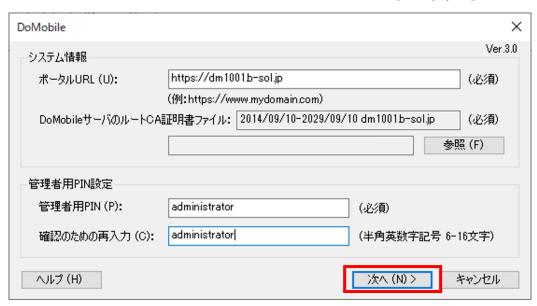
(1) USB 認証キーを PC に挿し込みます。「自動再生」が表示された場合は、「DoMobile PC に接続する。」を選択してください。



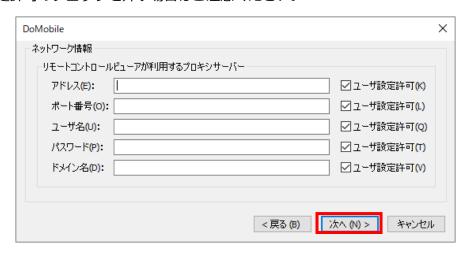
(2) デバイスが認識され、しばらくするとランチャーが自動的に起動されます。Alt キーを1回押した後、administrator と入力し、[OK]をクリックします。



(3) 以下の画面が表示されたら、新しい管理者用 PIN を入力し、[次へ(N) >]をクリックします。



- ※[ヘルプ(H)]をクリックすると管理者用マニュアルを参照することができます。
- (4) 以下の流れに沿って、[次へ(N) >]をクリックします。個別に設定する場合は、DoMobile USB 認証キー アドミニストレーターズガイドを参照してください。
 - ※ DoMobile の USB 認証キーは、各種証明書およびほとんどの設定情報が設定された状態で送付されますが、一部自席 PC の設定後でなければ取得できない情報があります。ユーザ設定許可のチェックを外す場合はご注意ください。



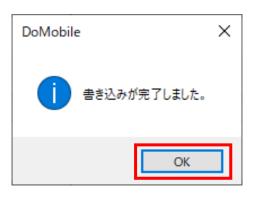
- (5) ユーザ情報の設定を行います。DoMobile PCのセットアップ時に設定した「コンピュータ名」、「ログイン名」、「第2パスワード」を設定します。ユーザ用 PIN は必要に応じて変更してください。設定が完了したら、[次へ(N)>]をクリックします。
 - ※ DoMobile PCのセットアップ時、第2パスワードの設定項目にて「第1パスワードと同じ」にチェックを入れた場合は、以下の第2パスワード欄に「第1パスワード」を入力してください。

DoMobile		×			
- ユーザ情報					
アクティブ化コード(A):	11111111	(必須)			
クライアント証明書ファイル:		(必須)			
		参照 (T)			
クライアント証明書ファイルのパスワード(Q):	•••••	_			
コンピュータ名(C):		☑ユーザ設定許可(D)			
ログイン名(L):		☑ユーザ設定許可(E)			
第2パスワード(s):		☑ユーザ設定許可(J)			
リモートパワーオン専用パスワード(o):	•••••	☑ ユーザ設定許可(K)			
ユーザ用PIN (P):	password	0			
確認のための再入力 (R):	password	英数字記号 6-16文字)			
	< 戻る (B) 次	\(N)> キャンセル			

(6) 以下の画面が表示されたら、[書き込み(W)]をクリックします。

DoMobile	×
設定情報 ポータルURL:https://dm1001.b-sol.jp ルートCA証明書:2014/09/10-2029/09/10 dm1001.b-sol.jp ルートCA証明書ファイル: 管理者用PIN:administrator リモートコントロールビューアが利用するプロキシ ・アドレス: ・ポート番号: ・ユーザ名: ・パスワード: ・ドメイン名: アクティブ化コード:11111111 クライアント証明書ファイル: ・コンピュータ名: ・コンピュータ名: ・ログイン名: ・第2パスワード: ・リモートパワーオン専用パスワード: ユーザ用PIN:password	^
<	>
戻る(B) 書き込み(W)	キャンセル

(7) 書き込みが完了すると以下の画面が表示されます。[OK]をクリックしてから USB 認証キーを PC から抜いてください。



6. リモート PC からの接続

USB 認証キーを使用してリモートアクセスを行います。

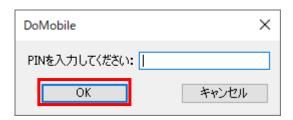
【注意】

ブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome 等) が起動中の場合は、USB 認証キーを挿し込む前に一度、起動中のブラウザを全て終了してください。

- ※ ブラウザを起動中の状態で USB 認証キーを挿し込んだ場合、証明書の認証がうまくできない場合があります。
- ※ リモートコントロール開始後は、ブラウザを起動していただいて問題ありません。
- (1) リモート側端末に USB 認証キーを挿し込みます。「自動再生」が表示された場合は、「DoMobile PC に接続する。」を選択してください。



(2) デバイスが認識され、しばらくするとランチャーが自動的に起動されます。PIN を入力して、 [OK]をクリックします。



(3) 「ユーザアカウント制御」が表示された場合、[はい(Y)]をクリックしてください。



(4) [接続]をクリックし、リモートコントロールを開始します。



(5) [接続]を選択すると DoMobile Viewer が起動し、DoMobile PC への接続が開始されます。事前に USB 認証キーに設定した情報は、自動的に入力されます。



(6) 「ユーザアカウント制御」が表示された場合は、ユーザの権限に応じてボタンを選択してください。



- 管理者権限の場合:[はい(Y)]を選択してください。
- その他のユーザ権限の場合:[いいえ(N)]ボタンを選択してください。

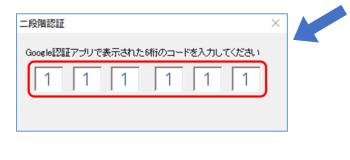
※ 「二段階認証」を有効にしている場合

「第2パスワード」入力画面表示後に二段階認証のプロンプトが表示されます。

① 二段階認証のプロンプトが表示されます。



② 二段階認証のプロンプトに、Google 認証アプリ (Google Authenticator/Google 認証システム)で 表示されている数字6桁を入力します。





(7) 接続が完了すると DoMobile PC の画面が表示され、リモートコントロールで操作することが可能になります。



(8) リモートコントロールができる事を確認したら、リモートコントロールビューア上部のツール バーの[×]アイコンをクリックし、セッションを切断します。



(9) [はい(Y)]ボタンをクリックします。



【注意】

リモートコントロールで自席 PC のシャットダウンを行う際は、以下の「リモートシャットダウン用ショートカットご利用方法」にてご案内しております、シャットダウン用ショートカットを利用してのシャットダウンを実行してください。

「リモートシャットダウン用ショートカットご利用方法」

https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_asp/pdf/hostpc_shut_man.pdf

※ リモートシャットダウン用ショートカットを利用せずにシャットダウンし、強制シャットダウンの確認画面でキャンセルを選択した場合、リモートコントロールビューアの操作が行えない状態となります。この場合、「接続状態リフレッシュ」機能をご利用ください。

「接続状態リフレッシュ機能のご利用手順」

https://support.hitachi-solutions-create.co.jp/asp/do/doc3/refresh_man.pdf